



非婚・独居高齢者に関する包括的研究

研究開発センター

南 拓磨 特任助教

【研究分野】 人口統計学、家族社会学、介護福祉統計学
 【キーワード】 ライフコース、初婚、非婚、介護福祉統計、人口
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=305mina>



研究概要

少子高齢化の進展に伴う高齢者の増加と、昨今の未婚化・晩婚化の進展を連続的に捉え、未婚化・晩婚化の帰結として増加すると想定される非婚高齢者について、その質（特性）と量に関する研究を行っています。最近では、未婚の結果として増加するであろう独居高齢者について、その要介護状態の推移や利用介護サービスの特徴等に着目した整理・分析を行っています。

研究紹介

1. 未婚化・晩婚化に関する研究
 - 婚前妊娠結婚と離婚に関する研究
 - 非婚（生涯未婚）者に関する研究
 - ライフコース上における初婚のタイミングが、その後のライフコースに与える長期的影響に関する研究
2. 独居高齢者及び介護サービス利用者に関する研究
 - 独居高齢者における認知症者の発生率及びその特性に関する研究
 - 要介護度重度化と、認定調査項目ごとの重度化の関係に関する研究
 - 在宅独居認知症高齢者のケアの場の推移に関する研究
3. 特定健診データを使用した受診勧奨・特定保健指導の効果検証に関する研究
 - 受診勧奨が健診データ各項目に与える影響に関する研究
 - 特定保健指導が健診データ各項目に与える影響に関する研究

講座テーマ紹介

- 要介護認定データ・基本チェックリスト等介護に関するデータ利用に関する講座
- 人口データ・アンケートデータ等のデータ利用に関する講座
- 基本的な統計手法の考え方に関する講座
 （新たにデータを取得することはもちろん、現時点でお手元にある既存データの活用方法等に関する提言・解説等を紹介いたします。）

アピールポイントなど

研究開発センターでの受託研究として、自治体における介護保険事業計画等の策定に際して利用できるデータ分析や資料作成等も行っております。